



2020年度（2021年3月期）

第2四半期決算 補足説明資料

2020年11月12日

ぴあ株式会社

東京証券取引所市場 第一部

証券コード：4337

[1]2020年度 通期業績の想定について

1)ライブ・エンタテインメント市場動向

2)通期業績の想定

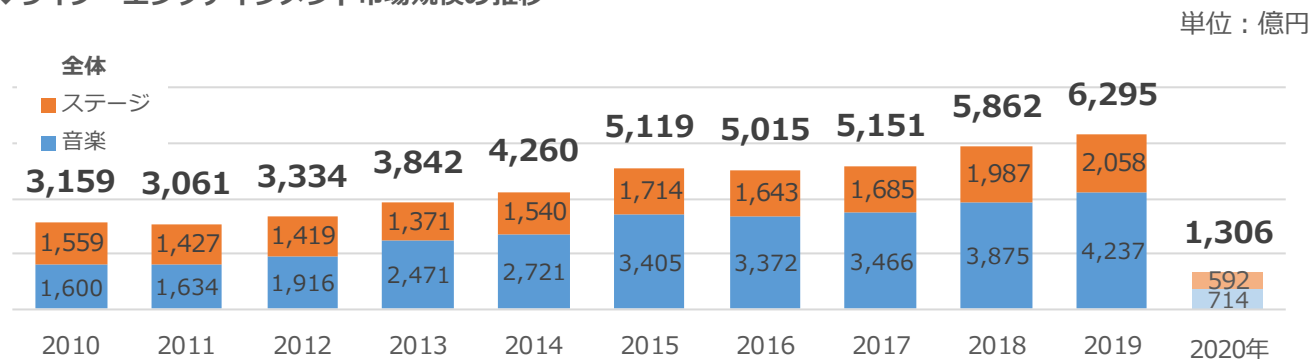
[2]財務状況について

1) ライブ・エンタテインメント市場動向

2020年のライブ・エンタテインメント市場規模*の試算値

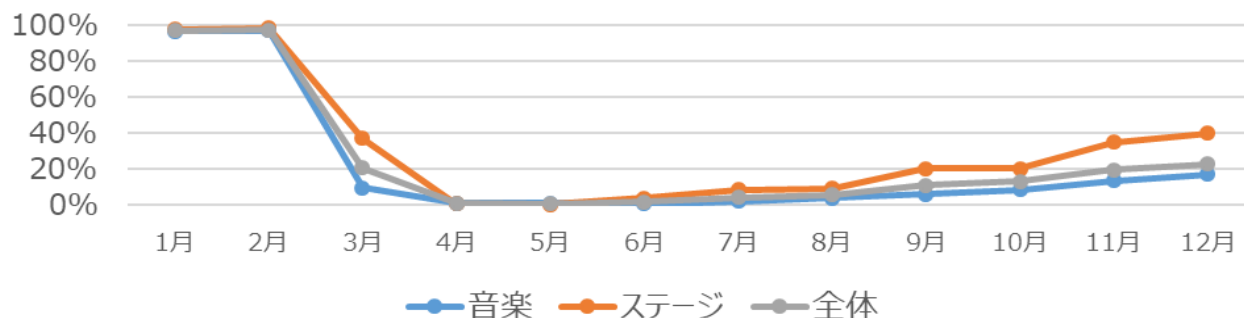
(10月27日付 ぴあ総研による試算値：イベントの制限緩和の遅れを踏まえ、6月30日時点の試算値を更新したもの)

◆ライブ・エンタテインメント市場規模の推移



前年2019年と比較して
約8割が消失する見通し

◆2020年のライブ・エンタテインメント市場規模の前年同月比(%)



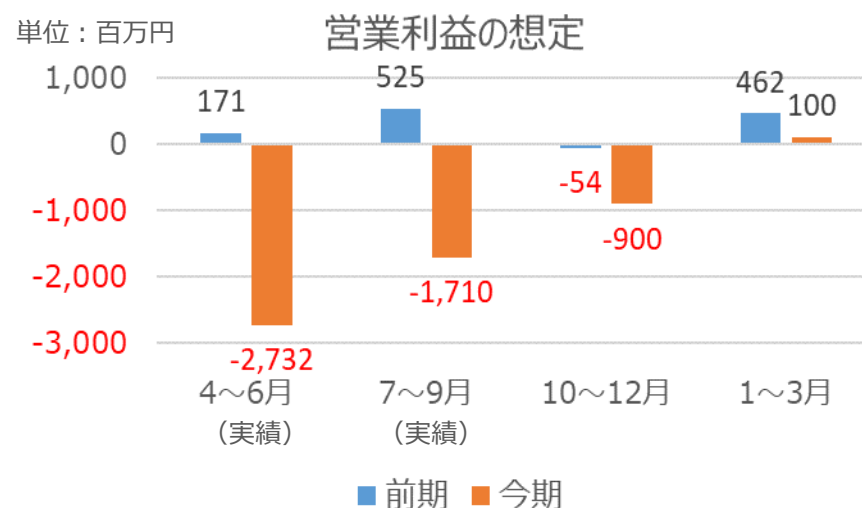
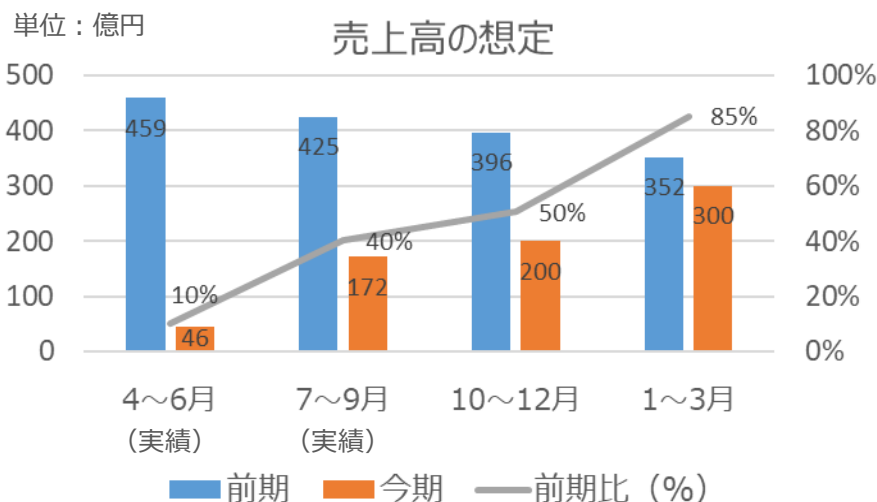
イベント制限緩和の遅れが
特に音楽ジャンルに影響

* ライブ・エンタテインメント市場規模 = 「音楽コンサートとステージでの、パフォーマンスイベントのチケット推計販売額の合計」

2) 通期業績の想定

**第4四半期のチケット発売の合理的な算定が困難なことから
2021年3月期連結業績予想については、本日時点では未定。**

- ・売上高・営業利益とも第1四半期がボトムとなり、その後の政府の段階的なイベント緩和に応じて回復の傾向。
- ・下記グラフの見通しは、想定可能なシナリオとして、2021年春以降のイベントの規制が現行から大幅に緩和され、そのチケット販売が2021年1～3月に実施された場合の想定。
- ・今後の政府のイベント緩和方針や、Go To イベントキャンペーンの動向を踏まえ、速やかに通期業績予想を開示予定。



[2]財務状況について



前期末からの借入による資金調達後、チケット売上の回復傾向により、キャッシュ残高は問題ない水準にて推移中。

・本日開示の ①自己株式の処分 と ②追加の長期借入及び資本性劣後ローン により、さらに備えを厚くする予定。

＜キャッシュの観点＞上記①のうち第三者割当分の22億円 + ②の20億円 の合計42億円

＜純資産の観点＞上記①にて、26億円の自己資本の改善

単位：百万円	前期末	当期 第2四半期末	備 考
現金及び預金	23,869	7,735	・9月末は一時的に残高水準が低下するも10月末の同残高は約110億円 ・12月末までに①自己株式の処分により22億円、②長期借入及び資本性劣後ローンにて計20億円を調達予定
有利子負債	12,599	23,862	上記②により、有利子負債は260億円規模となる見込み
純資産	6,019	1,647	上記①により、12月末までに26億円の自己資本増加の予定